

事業番号	05 08 23	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信濃学園運営費			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト			担当課	課・室	障がい者支援課	
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障がい者支援の充実		担当課	E-mail	<a href="mailto:shogai-shien@pref.nagano.lg.jp">shogai-shien@pref.nagano.lg.jp</a>	
				実施期間	S26 ~		

## 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内唯一の知的障がい児の入所施設としてセーフティーネットの役割を担い、入所利用者個々のニーズに応じた療育及び自立訓練等の支援を充実し、それぞれが希望する生活ができることを目指す。</li> <li>在宅の知的障がい児の療育環境の整備と継続に必要な支援を行い、自立と地域生活の継続を目指す。</li> </ul>		
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいの重度化など家庭療育が困難な児童、被虐待児童等の入所利用者が増加していることや、グループホーム等の受入先が満床であること等から、地域生活への移行が厳しい状況にある。引続き関係機関と連携し、地域生活移行を推進していく必要がある。</li> <li>日中一時支援事業及び在宅障がい児の療育支援相談会「こまくさ教室」等により、在宅障がい児の療育支援に努めている。</li> </ul>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 重度の障がい児や被虐待児の受入れ等、県内唯一の障害児入所施設として、セーフティーネットの機能を果たす必要がある。	
県民との協働による実施: 実施は困難			

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)						
	<input type="checkbox"/> 在宅障がい児への療育支援(こまくさ教室参加者数:70人/年) <input type="checkbox"/> 利用者満足度調査(85%)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H27事業実績		H27	H28	
					(当初)	(決算)	(当初)
	指定管理委託料	指定管理	信濃学園の管理運営を指定管理者((社福)長野県社会福祉事業団)に委託。	143,807	187,533	169,933	
	指定修繕委託料	指定管理				5,444	
	公用車更新	直営	老朽化したマイクロバスの更新。	5,330	5,133		
	指定管理者選定委員会経費	直営	指定管理者選定委員会の謝金・旅費	73	37		
	ボイラー更新設計委託料					1,599	
乾燥機更新					1,351		
汚物除去機更新					1,251		
遊戯具更新					987		
合計			149,210	192,703	180,565		

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	169,627	160,663	149,210	180,565
	補正予算	15,262	30,981	43,726	
	合計(A)	184,889	191,644	192,936	180,565
	一般財源	156,775	161,594	162,326	141,979
	県債				
	国庫支出金	25,684	27,344	29,388	35,295
	その他	2,430	2,706	1,222	3,291
	決算額(B)	183,918	190,754	192,703	
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	
概算人件費	4,129	4,129	4,138	4,138	
概算事業費(B(A)+C)	188,047	194,883	196,841	184,703	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
こまくさ教室参加者数	150人	70人	153人	達成	80人
利用者満足度	90%	85%	-	-	85%

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「こまくさ教室」は、目標を上回る参加者があり、在宅障がい児の様々な療育相談に対応することができた。</li> <li>「利用者満足度」は、福祉サービス第三者評価事業(3年に1度実施)のなかで調査したが、有効回答数が取扱要領に定める基準を満たさず非公表となった。今後は、公表可能な調査方法に改める。</li> </ul>
-------------	--

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28年度より第2期目の指定管理運営となり、個別支援計画による利用者支援や地域移行も含めた適切な支援を利用者が受けられるように、引続き民間能力を活用した効率的で効果的な運営を行っていく。</li> </ul>